



祥の石碑と桜



サザンカの木



早春に咲く桃の花



草花の美しい歩道



可愛らしい桜の花



共生共栄の石碑を彩る花々



開花を待つ蕾



彫刻像と黄色い花

春は暖かく草花が一斉に咲く季節。大地の隅々までそんな空気に満ち溢れます。そして合璧にとっての春はビジネスチャンスに恵まれ、希望に満ちた季節です。合璧の構内でも柳が芽を吹き、玉蘭、サクラ、梅、桃などが春風の中で次々ときれいな花を咲かせ、あたり一面緑の素晴らしい風景を作り出しています。そんな春の香りを楽しみながら、同僚たちはその中を楽しそうに散歩します。そしてデジカメや携帯電話を取り出して、目の前の美しい風景を記録に留めます。わたしは写真が下手なので、副総経理が撮ったのをこっそりお客様に送りました。すると、一時間も経たないうちに次々と返信のメールを受け取りました。

「きれいだね。時間が合ったら合璧へ見に行きたいよ」

「いいね。すごくきれい！外に行かなくてもこんなにきれいな風景が見られるなんて、合璧の社員は幸せ。うらやましいわ」

「きれいな風景をありがとう。合璧は特別だ。将来有望！」

「上手に撮れてるね。今度ぜひ見に行きたいわ」

こんな手紙の一つ一つを見ていると、合璧の社員でよかったとつくづく思います。

上海合璧営業課副課長 歐陽婷

### 素晴らしい体験～朝のジョギング

「ジョギング」。それはわたしにとって単なる訓練ではなく、素晴らしい思い出です。

2010年3月に合璧に入社してから1年10ヶ月、董事長が上海工場に来るとき、同僚はいつもこんなふうにあります。「董事長が来るよ。また早起きしてジョギングだね」。はじめのうち、わたしは思いました。わたしたちの世代の若者は両親に可愛がられて育った人ばかり。朝もぐっすり寝ていつまでも起きなくてやっとなら起きてくる人ばかり。だから朝4時半に起きるなんて苦痛以外の何物でもないと。



ところが、徐々にそれが受け入れられるようになりました。そしてそれが合璧で働く者の喜びとなるのを感じました。朝のジョギングは形式的なものではありません。それは合璧の文化、合璧の精神になっています。董事長は今70歳を越えています、40年にわたってジョギングを続けています。台風の日には室内で運動をします。董事長のそんな精神と持久力は想像を超えるものです。そして、この精神と持久力があってこそ今の輝かしい合璧があるのです。

朝のジョギングに参加したばかりのころ、暗い中で起きるのは本当に辛かったです。特に冬はたいへんでしたが、何とか頑張って起きました。みんなといっしょに工場の正門広場に整列して、元気いっぱい董事長に朝のあいさつをして、準備運動のあと出発です。会社から大通りに沿って約3キロ、古樹公園までの距離を長い列になって進みます。体力のある人はジョギングで、ない人は早足で目的地を目指します。わたしたち女性は体力がないので、列の一番後ろを走ります。時々前のほうから「もっと速く」と急かされるのを振り絞って走ります。そしてゴールしたときは、両足ともにがくがくして全く力が入らない状態でした。一方、70歳の董事長はというと元気いっぱい、みんなに気功や体操を教えていました。本当にすごいことです。

会社に戻ったあと、わたしは疲れて机に突っ伏して休んでいました。もう動かなくなりました。ところが、しばらくすると不思議なことが起きました。とても気持ちよくなってきたのです。董事長の話ではジョギングは心肺機能を高めたり、酸素代謝を促したり、体のバランスを整えたりすること。さらには皮膚が寒さに強くなり、免疫力が上がり、風邪を引きにくくなるほか、心のバランスも保つことができるそうです。そして何より強い意志と持久力が身につくのです。董事長にとってジョギングは毎日の日課のひとつにすぎませんが、董事長はそれをわたしたちにも教えようとしたのです。董事長の心遣いがわかりました。董事長はわたしたちのことを自分の孫のように思い、その健康を気遣っていたのです。董事長はよくこういいます。「よい習慣はよい性格を形成する。それによって人は成功する」。董事長を見ていると本当にそう思いました。

董事長は今でも毎日3時半に起きて運動をします。40年続く習慣です。これは平凡だけれど、とても偉大なことです。どれだけの人がこれができるでしょうか。そして、わたしにはできるでしょうか。その答えは……、わかりません。

汗を流して街を走る。笑顔で迎える朝。新しい空気と健康な体。

晴れ晴れとした気持ちで百歳まで駆け抜ける。

上海合璧設計課同仁 董莹



# 合璧流

# HOPPY

不断地思考与行动  
诚信规范创新卓越  
创造价值共生共荣  
感恩报恩回馈社会

出版社：合璧文化基金会 发行人：詹其力 编辑指导：陈庆煜、詹杰文  
总编：王迎春、林生富 编辑委员：刘珊、李高燕 印刷：上海臻禾印刷有限公司

2011/05  
第8期 05月10日发行

### 感謝の心—— 寧夏靈武技の実習生・杜文秀が母校に宛てた感謝の手紙

時間が過ぎるのは速いもので、あっという間に2011年の夏。ここに来てからももうすぐ2年になるようとしています。来たばかりのころ、わたしは夢と希望にあふれていましたが、やはり幼さの残る学生でした。しかし、今では会社で鍛えられ、立派な社会人へと成長したと思います。



杜文秀さんが董事長と記念撮影

会社に来たばかりのころ、新しい環境になかなか馴染めませんでした。会社の考えはわたしとまったく違っていたからです。ところが、いつしかこの会社でずっと働きたいと思うようになりました。合璧は温かくてみんなのことを思いやる大家族のような会社だったからです。高級幹部は「関心、關懷、關照（気配りと思いやりで接する）」という考え方で接してくれます。だから、わたしがこの大家族の中に入るのに時間はかかりませんでした。こうして1年8ヶ月、上司の指導を受けながら、さまざまな仕事に忙しく取り組むことでわたしは鍛えられ、成長し、多くのことを学びました。そしてそれが仕事経験や人のために何かをすることへとつながっていったのです。それから、この会社の家長のような存在の董事長はとても親しみやすく、董事長から教わった人生哲学や経営理念によってわたしは以前よりよい習慣を改めることができました。ここでの仕事、学習、生活を通して、わたしは「合璧人」ということばの秘めた深い意味を知りました。そして「合璧人」として「いかにやるか」という方法や「何故やるか」という道理を実感しました。

会社ではだれもが毎朝「禪の5S」を行います。林経理、周副理をはじめ多くの先輩が毎日就業1時間前に出社して「禪の5S」や仕事の準備をします。董事長が上海工場に来たときは自らわたしたちを指導してくれます。その中で「禪の5S」が普通の5Sと違うことを教えてくれました。「禪の5S」は禪を修めます。禪はわたしたちの仕事を生活と結びつけ、それによってわたしたちの魂を浄化し、きれいな心を生み出します。つまり、それをする中で人としての修養もできるのです。合璧では「同心、同歩、同調（同じ心と同じリズムでともに歩む）」という考えの下、上から下まで同じ歩調で一致団結しています。また、「関心、關懷、關照（気配りと思いやりで接する）」というスローガンが単なる言葉や形式的なものではなく、実践されています。というのは、合璧では董事長が「関心、關懷、關照」の心でわたしたち下層部の従業員に接しているからです。董事長はいつもわたしたちといっしょに食堂に並んで食事します。わたしたちに音楽の楽しさを教えるために自ら講義を行います。体を叩く健康器材の使い方を指導したり、従業員を連れて国内外の各地へ見学に行ったり……。

それに心臓病を患った同僚を救ったこともありました。こんなふうに董事長は「関心、關懷、關照」を最後まで徹底します。また、「熱心にやる」ということも強調します。そうすれば60点が80点になり、やがては90点になると考えているからです。

ここまで書いて、わたしは感情を抑えきれなくなりました。わたしは合璧人になれたことの誇りを感じています。わたしたちには偉大な家長（董事長）がいます。偉大な目標と社会責任があります。多量人として、この大家族の温もりと幸せを感じています。だからこそわたしたちは多くの榮譽やお客様の信頼を得ました。合璧の偉大なことを成し遂げました。そして、今後はさらに「同心、同歩、同調」や「関心、關懷、關照」を大切にしながら感謝の心を持っていきたいと思っています。

感謝といえば、張校長と賈小甯クラス主任の言葉が忘れられません。「将来どこにいても、何をしていても、感謝の心を忘れてはいけません。感謝の心を学んでください」。不思議なもので、合璧でも「感謝報恩、回饋社会」の念を以って、社会に寄与する」という考えを大事にしています。もし合璧に来ていなかったら、今のわたしはありませんでした。合璧がわたしに文化や人としての生き方を教えてくれたのです。「この世の万物に感謝の心がある」という言葉があります。落ち葉が宙を舞うのを見て、ある人が感動的な曲を作ります。これは落ち葉の、自分を育ててくれた大木に対する感謝の心です。こんな言葉もあります。「感謝の心は靴のようだ。それを穿けば、人生を軽快に歩むことができる」。そしてわたしはこう思います。感謝の心は生命の中で永遠に枯れない花です。感謝の心があってこそ、わたしたちの生命は輝かしいものになるからです。

わたしを育ててくれた学校や会社に感謝します。皆さんの温かい心の中でわたしは一步步人生の階段を上っています。わたしは皆さんの教えや信頼、支持に応えるために、力いっぱい仕事に励みたいと思います。時には十分でないことがあるかもしれませんが、努力します。職場で今以上に上司から信頼してもらえるようになるために怠りず、努力を続けたいと思います。こうして上司の信頼に応え、さらには会社の発展に貢献できるようになれることを心から願っています。

わたしを育ててくれた党に感謝します。わたしのことを気に掛け、支えてくれた上司や同僚に感謝します。そしてわたしの家族に感謝します。感謝の心、それは生活を輝かせ、人生を美しく彩ります。感謝の心を学ぶことは心の状態を平穏に保ち、より高い境地へと導きます。感謝の心は永遠に人生の柱です。思考が結果を決め、態度が勝敗を決めます。

最後にわたしを育ててくれた学校の皆さんのこと、心から感謝しています。

上海合璧 品質管理員 杜文秀